

令和元年9月定例会 提出議案の名称と概要

●平成30年度決算関係

- 議案第66号 平成30年度北栄町一般会計歳入歳出決算の認定について
- 議案第67号 平成30年度北栄町国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について
- 議案第68号 平成30年度北栄町介護保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について
- 議案第69号 平成30年度北栄町住宅新築資金等貸付事業特別会計歳入歳出決算の認定について
- 議案第70号 平成30年度北栄町下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について
- 議案第71号 平成30年度北栄町農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算の認定について
- 議案第72号 平成30年度北栄町風力発電事業特別会計歳入歳出決算の認定について
- 議案第73号 平成30年度北栄町栄財産区特別会計歳入歳出決算の認定について
- 議案第74号 平成30年度北栄町合併処理浄化槽事業特別会計歳入歳出決算の認定について
- 議案第75号 平成30年度北栄町大栄歴史文化学習館特別会計歳入歳出決算の認定について
- 議案第76号 平成30年度北栄町後期高齢者医療事業特別会計歳入歳出決算の認定について
- 議案第77号 平成30年度北栄町水道事業会計決算の認定について
- 議案第78号 平成30年度北栄町水道事業会計未処分利益剰余金の処分について
- 報告第9号 平成30年度決算に基づく健全化判断比率について
- 報告第10号 平成30年度決算に基づく資金不足比率について

※ 議案第66号～第78号及び報告第9号、第10号は「資料1」による。

●令和元年度予算関係

- 議案第84号 令和元年度北栄町一般会計補正予算(第4号)
- 議案第85号 令和元年度北栄町国民健康保険事業特別会計補正予算(第2号)
- 議案第86号 令和元年度北栄町介護保険事業特別会計補正予算(第2号)
- 議案第87号 令和元年度北栄町大栄歴史文化学習館特別会計補正予算(第2号)
- 議案第88号 令和元年度北栄町下水道事業会計補正予算(第2号)
- 議案第89号 令和元年度北栄町風力発電事業会計補正予算(第2号)

※ 議案第84号～第89号は「資料2」による。

● 条例制定関係

議案第79号 成年被後見人等の権利の制限に係る措置の適正化等を図るための関係法律の整備に関する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例の制定について

成年被後見人等の権利の制限に係る措置の適正化等を図るための関係法律の整備に関する法律の施行等に伴い、必要な改正を行うもの。

(施行日：令和元年12月14日)

議案第80号 北栄町情報公開条例の一部を改正する条例の制定について

情報の開示について、不開示における手続き及び適用除外について、必要な改正を行うもの。(施行日：公布の日)

議案第81号 北栄町印鑑登録及び証明に関する条例の一部を改正する条例の制定について

住民基本台帳法施行令及び印鑑登録事務処理要領の改正により、必要な改正を行うもの。(施行日：令和元年11月5日)

議案第82号 北栄町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について

子ども・子育て支援法の改正に伴い、町の特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準について所要の改正を行うもの。

(施行日：令和元年10月1日)

議案第83号 北栄町廃棄物の減量及び適正処理等に関する条例の一部を改正する条例の制定について

一般廃棄物処理手数料としての町指定ごみ袋の単価を改定するため、必要な改正を行うもの。(施行日：令和2年4月1日)

● その他関係

議案第90号 工事請負契約の締結について(お台場大橋橋梁修繕工事)

○入札日：令和元年8月26日

議案第91号 北栄町教育委員会委員の任命につき同意を求めることについて

○任期満了の日：令和元年11月14日

○同意を求める者

住 所：鳥取県東伯郡北栄町

氏 名：吉田由香里よしだ ゆかり (新任)

任 期：令和元年11月15日～令和5年11月14日(4年間)

平成30年度決算の概要

1 一般会計

(決算額)

歳入総額	95億	1,793万	730円
歳出総額	90億	4,488万	3,076円
歳入歳出差引額	4億	7,304万	7,654円

(歳入・歳出の主なもの)

(歳入)		(歳出)	
地方交付税	36億 6,541万円	民生費	23億 7,554万円
町税	14億 2,297万円	土木費	14億 6,615万円
国庫支出金	8億 7,282万円	総務費	13億 6,834万円
県支出金	8億 5,314万円	教育費	9億 8,846万円
町債	7億 9,830万円	公債費	9億 6,672万円
繰越金	5億 1,373万円	農林水産業費	6億 9,483万円

*単位未満切捨て

(健全化判断比率)

実質赤字比率	— %	(普通会計による比率。4.40%の黒字)
連結実質赤字比率	— %	(全会計による比率。14.12%の黒字)
実質公債費比率	13.8 %	(H28～H30の3年平均)
将来負担比率	93.8 %	

(企業会計の資金不足比率)

北栄町水道事業会計	— %
北栄町下水道事業特別会計	— %
北栄町農業集落排水事業特別会計	— %
北栄町合併処理浄化槽事業特別会計	— %
北栄町風力発電事業特別会計	— %
北栄町大栄歴史文化学習館特別会計	— %

2 国民健康保険事業特別会計

歳入総額	19億	2,155万	7,815円
歳出総額	18億	5,592万	268円
歳入歳出差引額		6,563万	7,547円

3 介護保険事業特別会計

歳入総額	16億	4,456万	1,347円
歳出総額	16億	177万	9,396円
歳入歳出差引額		4,278万	1,951円

4 住宅新築資金等貸付事業特別会計

歳入総額		235万	3,520円
歳出総額		3,452万	8,912円
歳入歳出差引額	△	3,217万	5,392円

5	下水道事業特別会計				
	歳入総額	14億	8,028万	7,384円	
	歳出総額	13億	2,163万	5,439円	
	歳入歳出差引額	1億	5,865万	1,945円	
6	農業集落排水事業特別会計				
	歳入総額		1,448万	4,101円	
	歳出総額		1,448万	4,101円	
	歳入歳出差引額			0円	
7	風力発電事業特別会計				
	歳入総額	4億	6,985万	4,842円	
	歳出総額	3億	8,316万	7,480円	
	歳入歳出差引額		8,668万	7,362円	
8	栄財産区特別会計				
	歳入総額		201万	8,972円	
	歳出総額		86万	1,052円	
	歳入歳出差引額		115万	7,920円	
9	合併処理浄化槽事業特別会計				
	歳入総額		717万	4,474円	
	歳出総額		717万	4,474円	
	歳入歳出差引額			0円	
10	大栄歴史文化学習館特別会計				
	歳入総額	1億	3,332万	8,452円	
	歳出総額	1億	2,118万	3,222円	
	歳入歳出差引額		1,214万	5,230円	
11	後期高齢者医療事業特別会計				
	歳入総額	1億	6,471万	4,758円	
	歳出総額	1億	6,324万	5,392円	
	歳入歳出差引額		146万	9,366円	
12	水道事業会計				
	(収益の収支)				
	収入合計	2億	8,676万	6,583円	
	支出合計	2億	2,248万	7,913円	
	差引		6,427万	8,670円	
	(資本の収支)				
	収入合計		9,492万	7,047円	
	支出合計	2億	4,806万	9,113円	
	差引	△1億	5,314万	2,066円	

1. 健全化判断比率の状況

(単位:%)

市区町村名	実質赤字比率	連結実質赤字比率	実質公債費比率 (前年度)	将来負担比率 (前年度)	資金不足比率
北栄町	該当なし	該当なし	13.8 (13.0)	93.8 (96.2)	該当なし

(単位:%)

早期健全化基準	14.74	19.74	25.0	350.0	20.0
財政再生基準	20.00	30.00	35.0		

◎用語の説明

- 実質赤字比率・・・普通会計(一般会計+住新特会)の実質赤字額を標準財政規模と比較することにより、その赤字の深刻度を把握するもの。
- 連結実質赤字比率・・・全ての会計の赤字・黒字要素を合算し、北栄町全体としてみた収支における資金不足の深刻度を把握するもの。
- 実質公債費比率・・・公債費や公債費に準じた経費を標準財政規模と比較することにより、財政の硬直化を示すもの。
- 将来負担比率・・・地方債の現在高等、将来負担すべき債務を標準財政規模と比較することにより、将来負担の程度を把握するもの。
- 早期健全化基準・・・この基準をいずれかの比率が超えると、財政健全化計画を定め自主的な改善努力により健全化を計ります。
- 財政再生基準・・・この基準をいずれかの比率が超えると、財政再生計画を定め国の関与により再生を計ります。
- 標準財政規模・・・地方自治体の一般財源の標準的な大きさを示します。「標準税収入額等」+「普通交付税」+「臨時財政対策債」

2. 要因と今後の見通し

実質公債費比率

公債費や公債費に準じた経費を標準財政規模と比較することにより財政の硬直化を示します。これらの経費は削減したり、先送りすることの出来ない最も義務的な経費なので、この比率が高まると財政の弾力化が低下し、他の経費を削減しないと収支が悪化し赤字団体になる可能性が高まります。

○増加の要因 ・標準財政規模の縮小及び公営企業会計への企業債償還の財源として認められる繰出金の増加により、ポイントが増加した。

○今後の見通し 平成22年度をピークに元利償還金は減少していることから、実質公債費比率も減少傾向にありますが、それ以外に比率に影響を与える公営企業会計への企業債償還の財源として認められる繰出金については十分注意が必要です。また、新たな借金をなすべく抑えるなど引き続き改善の取り組みを進めます。

将来負担比率

地方債の現在高等、将来負担すべき債務を標準財政規模と比較することにより、将来負担の程度を示します。この比率が高い場合は、一般財源の規模に比べて将来負担額が大きくなることになり、今後実質公債費比率が増大することによって、財政運営上問題が生じる可能性が高くなります。

○減少の要因 ・地方債の現在高、債務負担行為に基づく支出予定額などの将来負担額が減少した。

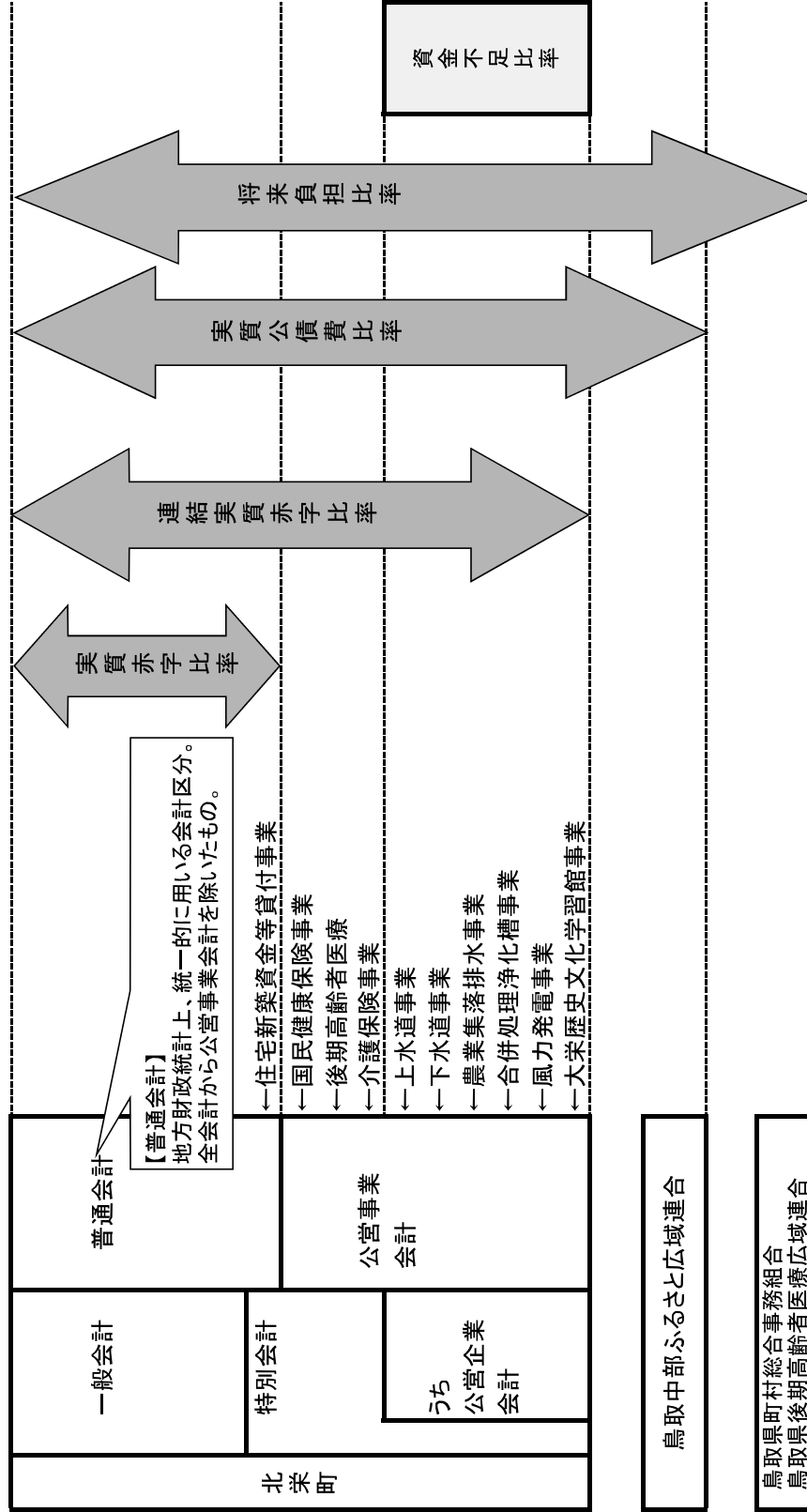
○今後の見通し 将来負担の主な要素である一般会計及び下水道事業特別会計の起債残高が今後減少していく予定ですので、それに伴い将来負担比率も減少していく見込みです。

資金不足比率

一般会計等の実質赤字にあたるものであり、公営企業における資金不足の状況を示します。この比率が高くなるほど事業規模に比して累積された資金不足が発生しており、経営状況に問題があることとなります。資金不足のうち、将来の料金収入等で解消することが予定されている部分は、資金不足額から差し引いて計算されます。

○北栄町の状況 それぞれの公営企業会計において、資金不足はありませんでした。

◎健全化判断比率の対象について



令和元年9月定例議会補正予算（案）概要

■ 9月定例議会提出補正予算

1 一般会計補正予算（第4号）

現計予算額8,856,764千円 補正額187,628千円 補正後の額9,044,392千円

（主な歳入）

地方特例交付金	20,147 千円
地方交付税	151,297 千円
分担金及び負担金	△ 10,817 千円
国庫支出金	18,436 千円
県支出金	17,330 千円
寄附金	50,032 千円
財政調整基金繰入金	△ 313,103 千円
前年度繰越金	260,843 千円
町債	△ 31,900 千円

（主な歳出）

ふるさと北栄基金事業	50,000 千円
町有財産管理事業	1,603 千円
大栄改善センター管理事業	8,017 千円
光ファイバーネットワーク施設管理事業	7,460 千円
北栄暮らし支援事業	6,256 千円
北条こども園管理運営事業	4,697 千円
木質バイオマス導入事業	10,000 千円
産業振興奨励金事業	8,562 千円
観光振興事業	32,059 千円
由良宿団地建替事業	5,052 千円
特定空家等除去支援事業	13,471 千円

（財政調整基金の状況）

当初予算時残高	1,285,643 千円
3号補正後残高	1,235,301 千円
4号取崩額（△）	△ 313,103 千円
現在高	1,548,404 千円

2 国民健康保険事業特別会計補正予算（第2号）

現計予算額 1,915,342千円 補正額 41,282千円 補正後の額 1,956,624千円
（補正の内容） 繰越金の計上、予備費の増等

3 介護保険事業特別会計補正予算（第2号）

現計予算額 1,573,826千円 補正額 43,152千円 補正後の額 1,616,978千円
（補正の内容） 繰越金の計上、国庫支出金等返還金の増等

4 大栄歴史文化学習館特別会計補正予算（第2号）

現計予算額 76,555千円 補正額 67,726千円 補正後の額 144,281千円
（補正の内容） 繰越金の計上、基金積立金の増等

5 下水道事業会計補正予算（第2号）

収益的支出 現計予算額 901,960千円 補正額 3,814千円 補正後の額 905,774千円
（補正の内容） 修繕費の増

資本的収入 現計予算額 329,748千円 補正額 11,438千円 補正後の額 341,186千円
（補正の内容） 工事負担金の増

6 風力発電事業会計補正予算（第2号）

収益的収入 現計予算額511,653千円 補正額9,516千円 補正後の額521,169千円
（補正の内容） 建物共済保険金の増

収益的支出 現計予算額386,251千円 補正額1,875千円 補正後の額388,126千円
（補正の内容） 人件費、風車タワーラッピング委託料の増